

# 「新聞平和広告」の掲載内容について 11月20日の茨城新聞朝刊

代表理事会や対策委員会で、以下のような協議を進めました。

1. 掲載紙 茨城新聞 11月20日(日)  
朝刊掲載 半ページ (A3)

2. テーマ 「東海第二原発を廃炉に」

3. 大見出し ◎ 「東海第二原発にさよならを」

- 東海村村長も政府に「廃炉」を提案
- 東海第二原発は危険がいっぱい
- 怖ろしい原発との同居はもうごめん
- 自然(再生可能) エネルギーへの転換を

## 4. 掲載内容

- (1) 私たちが県民にアピールしたいことと、多くの県民の考えていることがずれないように配慮する必要がある。一方的な宣伝にならないように工夫する。
- (2) 県民の意思がどこにあるかを示すこと。茨城大学地域総合研究所のアンケート調査が、客観的でアピール性にとむので、グラフで見やすくするとさらに効果がある。
- (3) 原発を抱えている東海村村長の「原発廃炉の提案」は、県民に訴える効果が大きい。
- (4) 「大見出し」が決まれば、その「理由」・「根拠」を説明することを意見広告の柱にする。以下の項目を中心に表現する。
  - ① 東海村村長は政府に「廃炉」を提案した。茨城大学地域総合研究所アンケート
  - ② 「東海第二原発」の30km圏内に100万人が居住している。避難は不可能。
  - ③ 原発にかぎらず、「事故」は起きる。大きな事故はすべて「想定外」である。

- ④ 東海第二原発も津波があと70cm高かったら、福島原発事故と紙一重だった。
- ⑤ 東海第二原発は、稼働33年の老朽原発であり、津波が無くとも危険。
- ⑥ 放射性廃棄物の最終処理が技術的に解決できない状況で稼働継続は狂気の沙汰。
- ⑦ 電力需要は自然(再生可能) エネルギーへの転換で対応できる。  
\*説明文はできるだけ短くし、項目ごとに4~5行程度で押さえる。

## 5. 主旨と紙面の都合で省かざるをえない項目

- ・放射能汚染について ・福島原発事故の内容
- ・原子力発電の構造について
- ・老朽化の説明 ・メルトダウン ・核燃料リサイクル
- ・日本火山列島の危険性
- ・原子力行政や「保安院」など、原子力行政について
- ・原発と税金の関係(電源三法・交付金・寄付金)について

## 6. 今後の作業日程

- (1) 代表委員と事務局で原案作成
- (2) 11月10日(木) 第8回 「茨城に原発はいらない」対策委員会で検討
- (3) 11月15日(火) 茨城新聞社に入稿  
11月20日(日) 掲載

7. 具体的な作業は、代表委員と事務局、対策委員会で責任を持ちます。



会場をいっぱいにつめつくし、

# 「11.20 県民集会」



おおきく成功させましょう!

11月20日(日)午後1時受付1時半開始

県立青少年会館大会議室 (水戸市緑町)

東海第二原発を抱える茨城の地で、「東海第二原発の再稼働を許さず、廃炉に!」を合い言葉に、6月の茨城県平和委員会大会以来、宣伝・署名集め・平和広告賛同の呼び掛けなど、会員の皆さま方の精一杯の取り組みに感謝致します。

そして11月20日の県民集会は、さらなる運動の飛躍のためにぜひ成功させなければなりません。

目前に迫りましたが、こんどの日曜日には、万難を排して県立青少年会館に集まりましょう。多くの方々に呼び掛けて、お誘い合わせての参加をぜひお願いします。



放射線の心配を早くしなくて済むように・・・



「戦後66年「語り継ぐ戦争」のかかしも

「24回里美かかし祭」より

## 石岡平和の会主催の講演会のお知らせ

### 『原発事故と放射能の影響』

講師：岩井孝氏 (日本科学者準会員・日本原子力研究開発機構労働組合中央執行委員長)

国民の立場に立って、原発事故の問題点をお話しします。

日時：11月27日(日)午後1時30分～3時30分

会場：府中地区公民館2階大会議室

(石岡市府中6-5-17 :0299-24-1530)

どなたでも参加できます! (参加費無料)

問い合わせ先 植田金雄(携帯090-8850-1095)

山口由夫(0299-26-4428 携帯090-1886-0931)

## 平和新聞

2011年11月15日(火曜日)

1972号 (毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

## 平和かわら版 平和新聞茨城版 No.610

2011.11/15

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

